

SSKS 風の子便り

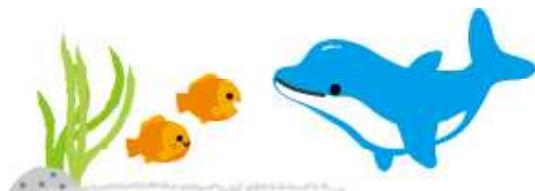
ひとりぼっちの障害者をなくそう



**2011年
8・9月合併号**

目次

- ☆学習会報告・寄付のお礼・・・2
- ☆歌と踊りの集い感想・・・・・・3
- ☆茶話会・スケジュール・・・・4
- ☆みなと夏祭り感想・
活動報告・・・・5
- ☆虫めがね・・・・・・6
- ☆定例総会報告・・・・・・7
- ☆太田・和栗連載・・・・・・8
- ☆岡本副会長連載・・・・・・9
- ☆小野塚連載・・・・・・10
- ☆DVD便り・夕会便り・・・・11
- ☆編集後記・・・・・・12



寄付のお礼

賛助会にご賛同して下さった方
 山内キク工様 吉水富美子様
 田村敏起様 高野貞夫・カネ様
 立石修様 松本浩美・みづえ様
 鈴木公子様 松本成子・恵司様
 島田保江様 青木和代様
 鈴木謙一様 長坂富紗子様
 小高安子様 司城多喜子様

山本喜美枝様 小倉英克様 岡竹徹様 藤森榮子様 渡辺さよ子様 木田節子様
 渡部一元様 大島冷子様 金子豊様 黒沢フミ様 小田正人・瑞穂様 司城不二様
 鷹田洋子様 小西雅子様 塩崎良子様 森美代子様 新井ミヨ様 山岸久雄様
 谷島イク工様 柏原美千恵様 小野田和子様 山崎真理子様 小野由紀子様
 長坂富紗子様 羽場貞子様

寄付を下された方 松本成子様

巻頭文

夏です。僕が思い出すのは花火です。芸術で素晴らしいです。大空に咲くお花です。浴衣を着た若い恋人達が一緒に花火を見ます。今年も暑いです。十分に水分補給をして、元気に過ごしましょう。

柳川 敬事

学習会報告

6月一杯と7月6日は歌と踊りの練習をやりました。歌と踊りの練習は俳優と声優に別れてやりました。岡さんがたいへんな思いをしながら押してくれました。ありがとう。石川五右衛門役は小野塚さん、真柴久吉役は僕がやりました。



7月13日に水曜学習会で行われた野球はとても盛り上がりました。ヒューマンで野球をやりました。楽しかったです。とてもよかったです。岡本祐介所長かっこいいです。

7月20日
 ブラタリウムに行く予定でしたが、台風のため中止になりました。代わりに予定決めをしました。

7月27日
 スタジオジブリの「借り暮らしのアリエッティ」をみんなで観ました。

8月3日
 習字をやりました。みんな上手かったです。

松本 恵司





歌と踊りの集い 感想だよ！！

7月9日土曜日。歌と踊りの集いが行われました。場所は麻布区民センターです。ぼくたち風の子会は劇をやりました。有名な石川五右衛門です。五右衛門役は小野塚さんです。僕は岡っ引きを演じました。劇はうまく行きました。他の施設の皆さんは歌を披露しました。よかったです。最後はみんなで踊りました。僕は岡本さんとダンスをしました。盛り上がりました。来年は好きな人と踊りたいです。



柳川 敬事



歌と踊りを振り返って

さる7月9日、港区麻布区民会館で、歌と踊りの集いが開かれました。今年の風の子会の出し物は、江戸中を騒がせた「石川五右衛門」。今回は舞台上で演じる人と声の出演の2つに分かれました。主人公五右衛門には、小野塚君が扮しました。そして声の出演は、石川五右衛門を立石さんにやってもらいました。舞台の方はおかげさまでとてもうまくいったと思います。最後になりましたが、今回も「歌と踊り」にご協力くださった方々に厚く御礼申し上げます。

太田 稔



劇「山門五三桐改」ボランティアに参加して

最初は風の子会の皆さんも色々なところで試行錯誤され大変苦労されていましたが、練習をかさねるごとに劇の流れもスムーズになってきました。私は車椅子を押す係を担当しましたが、慣れない動きにも皆さんが協力して下さいました。やはり本番となると、さすがに緊張しましたが、なんとか最後までやり遂げる事ができました。皆様、有り難うございました。今後もボランティアとしてお手伝いしていきたいと思ひます。

青木 蝶子



茶話会感想

七月二十三日（土）PM二時～四時三十分まで、明治学院大学にて茶話会が行われ、風の子会の皆で参加をしてきました。会場へ到着をした一行は、それぞれの班に分かれて自己紹介や、コラージュ・アートなどを行いました。コラージュ・アートでは、各班に配られた一枚の模造紙を使って、雑誌の切り抜きや写真などで、一つの作品を完成をし、その後、茶話会の実行委員で用意していただいたお菓子や飲み物などをいただき、コラージュ・アートの完成発表会を行いました。各版それぞれ個性が出ていて、おもしろいコラージュ・アートが出来上がりました。これならば風の子会の、水曜学習会やクラブ活動で取り入れたいと思いました。今後は、明治学院大学の皆さんと交流を深めて、よりよい茶話会にしたいですね。



田中 聡



七月二十三日土曜日。僕達風の子会は明治学院大学へ行きました。茶話会に呼ばれました。最初は自己紹介をやりました。僕と野田先輩と千代さんは大きな紙に絵を書いて折り紙を貼りました。僕の名前と平沼さんの名前を書きました。岡本さんが褒めてくれました。うれしかったです。僕達の席に心理学を学ぶナホさんが一緒に参加しました。絵のテーマは笑顔です。野田先輩は人の絵を描いてました。みんなでお茶を飲んでお菓子を食べました。それから、絵の説明会をしました。僕達の絵のタイトルはひまわりです。最後は全員で集まって写真を撮りました。いい笑顔でした。

柳川 敬事



スケジュール

8月21日（日）高浜荘夏祭り

9月3日・4日（土・日）風の子会旅行

10月8日・9日（土・日）区民祭り

みなと夏祭り感想

7月16日(土)に港南特別支援学校にて第27回「みなと夏祭り」に参加してきました。およそ20団体が集まり、風の子は自主制作品等を中心に販売をしました。

このお祭りには毎年参加希望が風の子メンバーからあがり、今年も通年通り用意をして参りましたが、当日熱中症へのおそれから、車椅子メンバーの参加が中止という判断が理事から下されました。その為参加者はボランティアさんを中心に販売を行う、少し風の子としては異例のブースとなりました。

当日は急遽テントが借りられ、風もあったので比較的過ごしやすかったです。

また今回は昨年同様新製品のお披露目となりました。今回の新製品は風の子特性団扇を販売致しました。おかげさまで完売となり、秋の出店イベントへの弾みとなりました。いやいや制作が追いつくか今から不安です。

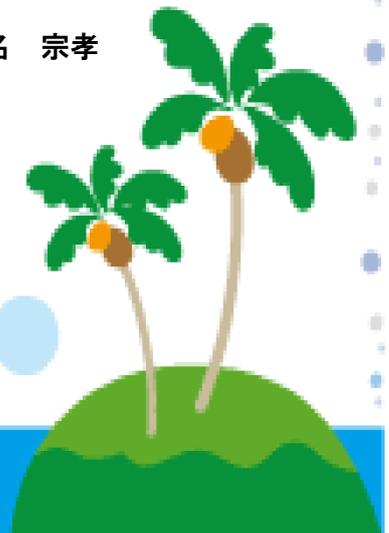
ボランティアの皆様、暑い中お疲れ様でした。

山名 宗孝

今まで何度か出ていますが、今はテントも用意していただいて皆さんからもらった、牛乳パック製品(うちわ12、3本)は全て完売致しました。

気温が暑かったので行くメンバーが限られてしまったことと、時間もあまりとれなかったことが残念でした。しかし、それでも去年と同じくらいの売上げがあり、買っていた皆様にはこの場を借りて、感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。

松本 成子



活動報告

6月の風の子は、うたとおどりの集いの練習に終始していた。今回は歌って踊ってといういつも通りの出し物ではなくて演劇をやることになっていた。担当職員が脚本や演出などいろいろと考えてくれた。中でも画期的に思えたのは演技をするメンバーと台詞を言うメンバーに役割を分担したことだ。風の子には様々な障害者がいる。その全てのメンバーに役を与えるという方法は、とてもいいやり方だと思った。

7月は、週末ごとに何かしらのイベントがあったような気がする。うたおどり、港特別支援学校のお祭り、明治学院の学生に招待を受けてのお茶会、はつらつ太陽のお祭り見学など、あちこちへ飛び回っていた。猛暑の中を動き回るのはメンバーも職員もボラも大変だ。けれど外の人たちと触れ合うことが僕らにとって何らかの刺激になるとすれば、それはとてもいいことであるはずだ。

もう一つ書き加えるとすれば、企画の部屋ががらっと模様替えしたことだ。以前は壁際に配置されていたパソコン机を、部屋中にちりばめるような形に置き換えたのだ。

おかげで企画の風景が大きく様変わりした。風の子の体制が変わって1年半。作業所の風景や雰囲気、少しずつ変化し始めている。

小野塚 航

虫めがね

国会議員に一言

僕の『国会議員の皆さまに一言』というのは、東日本大震災で未だに避難所生活をされている方や、福島原発による多くの被害に遭われている方たちに、与党も野党も関係なく、国会議員全員が謝罪をしに東北地方まで行くような気持ちをぜひもっていただきたいです。それに、五年ほど前から総理大臣が変わることが国民代表として恥ずかしく感じないです。何事にも冷静に判断ができ、皆が頼れる総理大臣を願っています。その他では、米国の米軍基地や北朝鮮の拉致被害者などの外交問題について、本格的な議論をして被害に遭われている方に少しでも気持ちを考えてくれる政治家を願っています。その他では、弱者の方々の立場を弁えた発言や行動をとっていただきたいと思います。最後になりますが、どの国にも負けない福祉政策を願っています。

田中 聡



自民党の小泉純一郎内閣までは安定した政治を実行していた。その後の首相に同党から安部氏次に福田氏が選ばれたが小泉政権をうまく引き継ぐ事が出来ずそのうちに自民党は国民の信頼を失い政権から失脚した。変わって民主党政権になっても何をしたいのか？！何を考えているのか？！ハッキリせず首相がコロコロ変わるの、これでは誰が総理大臣になっても今の政治を安定させる事が出来ないのではないかと国民はみんな不安と怒りを感じていると思う。

国会議員は国民の投票によって選ばれて国会に勤務しその方々よって総理大臣などを選んで国民の税金で高額の給料を受給している。しかし政治はハッキリせず、小沢一郎氏の秘書の裏金から始まり閣僚からも色々な問題が相次ぐ民主党政権も国民の信頼を裏切りそうだ！もう少ししっかり政治を行って欲しい。

幸 高史

バブル経済が崩壊した後、日本経済はずっと低迷し続けている。社会保障制度も問題だらけだ。自民党政権に嫌気がさした国民が民主党に希望を見いだそうとしてみたものの、普天間基地移設や尖閣諸島事件など外交下手さを露呈し、政治も経済も行き詰まり感は一向に解消されないままである。加えて今回の震災における復興対策、原発問題に関しても首を傾げたくないような対応ばかりだ。

けれどもそれらすべての責任を政治家達にだけ押しつけてしまっているのだろうか。日常生活に追われて政治について無関心に過ごし、メディアの煽りに乗せられて「今の政治はだめだ」と騒ぐのは本当に正しいことなのだろうか。政治について一定の見識を持ち、今の政治家達の現況を客観的に把握した上でなければ、何かを言う資格はないのではないのだろうか。

小野塚 航



平成22（2010）年度定例総会は、平成23年6月18日（土）に高浜実習所隣の会議室にて開催されました。

運営委員会からの事業報告では、成果として①通所事業の利用者が増えてきていること。②職員から積極的な提案や事業開拓への模索が取り組まれていること。③家族、ボランティアの活躍貢献できる場「家ボ茶」の模索がはじまったこと。④これらの前進面の反映として、レイアウト設備の改善がすすめられ、実習所の雰囲気は活発に明るくなったこと。一方、反省課題としては①健康診断の取組が、未だ、在宅の孤立した障害者に広げられていないこと。②外に出ようのとりくみが、8団体の共同事業でありながら、風の子の職員に負担が集中している問題。③地域に出るとりくみ、「障害者が居ること」をアピールする活動がほとんど取り組まれていないこと。などが挙げられ、決算とともに承認されました。

今年度の事業方針としては、報告で示された課題の発展と改善の方向が提起され、予算とともに承認されました。

役員選出が行われました。理事は、会長 花田 政國さん、副会長 岡本 明さん、事務局長 井出 義文さん、理事 太田 稔さん、岡本 裕介さんの5名が、再任され、新たに、運営委員会の推薦した、小野塚 航 さんが選任され6名になりました。監事は2名のままですが、松本 成子さんが再任され、佐久間 健さんは退任し、補充として運営委員会の推薦した佐久間 久仁子さんが選任されました。

今総会において、定款中の総会の議決をめぐる条文改正が行いました。

井出義文

総 会 報 告

僕の生い立ち

〜第八話〜

昔の作業所では職員さんのなり手も少なかったため、人手が足りないものだから、ついトイレを出さないことが多かった。その為、僕はよく大人になってもつい最近まで、「尿路感染症」という病気にかかりやすく、それでよく入院していたものである。ここでちょっと「尿路感染症」について書いて

みよう。この病気、一見治りやすそうなのだが、実は一旦この病気にかかると、癖になってちよいちよい同じ病気にかかりやすくなるのだ。まずこの病気の症状は、やっている仕事がおっくうになりそれが進むと小便がなかなか出なくなる。だから肝臓が悪くなったのかと誤解をしてしまうのだ。尿路感染は軽く見がちだが、実はやっかいな病気の一つなのである。



あんパン物語・第二回

横浜を目指して、木村靖衛門は、品川宿を足早に通りますと、六郷の渡し舟で、川崎宿、まだ日も高いが、どうせ急がぬ旅なので、戸塚宿で一晩止まって、明日の朝早く出発と決めた。

早朝 靖衛門は、横浜へ向かって足取りも軽く、行く手には、門出を祝うかのように富士山が差日に輝いて眩しく見えた。

横浜村に着いたのは、その日の夕方近くだった、靖衛門は、びっくりして目を疑った、これは村ではない町だ。それも私が見たことも聞いたこともない、赤や茶や色の瓦屋根、色とりどりに塗った家と異国の文字で書いてある大きな看板を掲げた商店立ち並んで、色が白く金髪や赤毛で鼻が高く尖った、異国の人々が大勢町を忙しそうに歩いて、街はにぎわっていた。

〜 栗 あきらら 〜

風の子便り連載 バリアフリーよもやま話 第2回 「点字ブロック開発物語」

今回は点字ブロックについてお話します。点字ブロックとは目が不自由な人のガイドになる線、というのには皆様よくご存知と思います。日本ではかなり普及していて、いろいろなところで見る事ができますね。

でも、この点字ブロックは日本で発明されたものだということをご存知でしょうか。これは岡山の三宅精一さんという方が今から45年前に発明したものだのです。三宅さんはある日、一人の目の不自由な人が道を渡ろうとしたとき、車のクラクションに驚いてその場にうずくまってしまったのを目撃しました。



その日から三宅さんは目の不自由な人が安全に歩けるようにしたい、と必死に考え始めました。そして思い出したのが友人で全盲の岩橋英行さん（元日本ライトハウス理事長）が言った、「目の不自由な人間は靴を履いていても土と苔の境がわかる」という言葉でした。それをヒントにいろいろ工夫を重ね、ついに1965年、点字ブロックを発明したのです。

しかし初めはまったく受け入れられず、盲人協会などからも何をたくらんでいるのか、けんもほろろの扱いを受けました。それにも

めげず、説得と改良を重ねてついに1967年、岡山盲学校の近くの国道250号線に世界で初めて点字ブロックが敷設されたのです。開発にかかった巨額の費用には家業の旅館業の収入のほとんどが充てられ、その旅館もつぶれてしまったという事です。

三宅さんはこの仕事に一生をかけ、その無理もあつたのでしよう、1982年に57歳で亡くなられました。現在、弟の三宅三郎さんがその遺志を継ぎ、(財)安全交通試験研究センターの理事長として点字ブロックの普及に努めておられます。実は「点字ブロック」というのはこのセンターの登録商標なのです。正式には「視覚障害者誘導用ブロック」といいます。でも「点字ブロック」の方がわかりやすいですね。

点字ブロックはほとんどが黄色です。これは、弱視（まったく見えなくはないけれど、視力が弱い）の人が歩くときのガイドにもなるように、地面とのコントラストがはっきりし、また比較的汚れにも強い色として使われているようです。



点字ブロックは目の不自由な方には大切なものです。よくこの上にものを置いたり、自転車を停めたりしていることがあります。これは目の不自由な方にとってとても困るこ

とですから気をつけてください。ときどき「点字ブロックの上に車を停めないでください」という注意書きが置いてあることがあります。でもこの写真のように、その注意書きを点字ブロックの上に置いてしまつては困りますね。

ところで、車椅子を使う人や、杖について歩いている人にとってはこの点字ブロックは邪魔物です。車いすはガタガタするし、押しにくいし、歩いている人は滑ったり、つまずいたりしてしまいます。黄色い線は周囲にマッチしない、ということもよくあります。江戸時代の家が残っているような古い落着いた街並みには、確かに点字ブロックは似合わないですね。いくつかの工夫はありますが、今のところ良い解決方法がありません。あちらを立てればこちらが立たずという状態ですが、現段階ではお互いに少しづつ譲り合つて、両立するようにしていくしかないのではないかと思います。

岡本 明



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第39話 ゼミ生としての3年目

5年目、ゼミの仲間との付き合いも3年目となった。このゼミはなぜか僕と同じく留年組が多かった。けれどもそれは僕のような自堕落故の留年ではなく、社会に出るよりももう少し勉強に取り組んでいたいという計画的留年が多かったように思う。この年には寮の後輩のマキがゼミに加わった。マキは学内での交流が広い後輩で、すでにゼミにも何人か知り合いがいるようだった（ちなみにもう少し付け加えると、マキは以前に紹介したハラの彼女でもある）。ゼミを通して親しくなった仲間や寮の後輩なども加えて、3年目のゼミは順調に進んでいった。

ゼミの仲間と盛り上がり、新宿まで飲みに行ったこともある。当時の僕はまだ町田の田舎町の居酒屋しか知らなかったの、新宿の煌びやかで淫靡な香りのする繁華街にとっても緊張し、同時にとても興奮していた。雑居ビルに入った狭苦しい店が出てきたのは、多分僕が生まれて初めて食べた（とっていいかもしれない）タイ料理だった。パクチーの不思議な香りやシンハービールの味はとても刺激的だった。このとき一緒に行った仲間はゼミの中では少し異質なタイプの仲間だった。あくまでも単位を取るためにゼミに入ったという感じで、哲学よりも下世話な話が好きそうだった。だから歌舞伎町にも詳しく、僕はドキドキしながら彼らの話に聞き入った。その時は歌舞伎町を徘徊することはなかったが、かなり遅くまで飲んでいて。飲み終えて、寮へと帰る終電間際の小田急線のぎゅうぎゅう詰めの電車に乗って帰った経験も、決して忘れることはないだろう。

ゼミ仲間の家に遊びに行ったこともある。ゼミが終わった後でみんなで行こうという流れになったのだ。彼の名はタイキという。大学から駅方面に向かい、近くを流れる川沿いのアパートに彼は住んでいた。川の流れる音と、隣接する小田急線のけたたましい騒音との間に挟まれたような場所だ。こんな風に大学近くにアパートを借りて生活するという手段もあるのかと、部屋を眺めながら思った。彼の部屋は本で溢れ返っていた。棚やテーブルの上や椅子、床の上まで本で埋まっていた。それらの本は哲学書であり社会学書であり、趣味の音楽雑誌であった。こんなに多くの本を読んでいる人と一緒にゼミにいるのか、と僕は改めて驚き、同時に自分自身の小ささを情けなくも思った。

タイキの部屋にはカイリとフクマとオザワ、それにマキと僕で訪れた。タイキは、マキの彼氏のハラと友人で、マキやハラを通してゼミに入る以前から何度か知りあっていた。ゼミで語り合うにつれて、タイキという人物を徐々に知るようになり、タイキはかなりインテリジェンスのある奴だとわかった。「今年は卒論を仕上げないとな」缶ビールを空け、マルボロに火をつけながら言う僕に、タイキはこう応える「何かの縁で知り合った仲だ。俺にできることがあったら何でも協力するからな」「ヅカシも5年生だし、今年はちゃんと卒業しないとね」タイキの語尾に、マキが付け加えた。

大学生活5年目。寮での人間関係も学内での付き合いもそれなりに確立し、卒業へと向かい邁進し、かつその後の展望も少しずつ考え始める。そんな夏だった。

～ 第40話へつづく ～



緊急告知!!

風の子紹介DVDが できました!

一昨年あたりから動き始め、紆余曲折があったものの、ついに完成することができました。

これを機に、より多くの方々に風の子を知ってもらい、メンバーの発掘や風の子の発展に少しでもつながればと思います。ご協力して下さった方々には、厚く御礼申し上げます。



また、一般会員・賛助会員の方々には後日、送付致します。
会員以外の方でもご興味のある方は、配送致しますので、ぜひご連絡下さい!

これからも風の子会をよろしくお願い致します!



五月二十八日、六月四日、二十五日（土）・・・『共に生きるみんなの歌と踊り』の演目「さんもんごさんのきりかい 楼門五三桐改」の練習を、声優陣は企画の部屋で（担当は山名さん）、俳優陣は工房の部屋で（担当は丸山さん）職員指導の元、一度分かれて間を含めた練習を・・・。送迎時間の三十分前に合同練習をしました。

六月十八日（土）・・・明治学院からのお誘いを受けている『茶話会』への参加者《日程は未定》及び十月二十二日～二十三日に行われる『きょうされん滋賀大会』への参加者を募った結果、前者は十三名・後者は二名でした。明学との交渉・調整は担当の山名さんが、責任者として充たってくれています。

三木直人

※七月の夕会は、行事が多かったので、開きませんでした。

編集後記

女子サッカーのワールドカップで日本代表の「なでしこジャパン」がいつの間にか決勝に進出し世界ランク1位のアメリカと対戦した。その結果は2対2で試合が時間切れとなり延長PK戦で3対1で「なでしこJ」が勝利を修めこの大会初優勝した。本当におめでとう！それによって今年の3月に起きた東日本大震災や台風などで被害にあってまだ避難している人々への希望と勇気とやれば出来るんだと言う力強さを与えた事と思う有り難う！ 幸 高史

この夏は、『意味のある』省エネ・節電をしましょう。

田村 亮彦

今、日本が大変な時です。皆さんで知恵を出し合ってください。必ず、いい方法があると思います。例えば少し電気を消して仕事をするとか余った材料で料理を作って食べたりしてください。そうすればエコになります。

柳川 敬事

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

柳吉右松田小太
川田田本中野田
敬久磨恵 圭
事代子司聡航子

和幸三田佐太
栗 木村久田
顕 間
太 高直亮
郎 史人彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

